



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校 ペットボトルロケットを作成しました

シリーズ宇宙学の一環として、中学2・3年生がペットボトルロケットを作成し、飛ばす活動を行いました。



担当の教員から作成方法を教えてもらい、ペットボトルを切ったり、テープで貼り合わせたりしながら作成しました。尾翼などを取り付ける作業に苦労していましたが、生徒はグループで話し合いながら、楽しく意欲的に作成していまし

た。ペットボトルロケットを発射するときには、ペットボトルの飲み口に自転車の空気入れで空気を入れ、スイッチを押して、発射させます。限界まで空気を入れるために、空気入れが動かなくなるまで動かし、ペットボトルがばんばんになるまで頑張つて入れていました。

そして、いざ発射してみると、綺麗な放物線を描きながら、130m以上飛んだロケットもあれば、直ぐ地面にぶつかってしまいうロケット、飛んだ後、衝撃に耐えられず壊れてしまうロケットなど、悲喜こももものでした。しかし、自分たちが作ったロケットが飛ぶ姿を生徒たちは満足げに楽しんで見せていました。

シリーズ宇宙学の体験活動として、ペットボトルロケットを打ち上げましたが、生徒にとっては物作りの大変さや、面白さを味わう良い体験活動になりました。

高校 寮見学会が行われました

7月28日に寮見学会・体験授業が行われました。県内外から約250名の児童・生徒・保護者に来校して頂きました。

最初に全体会で生徒代表があいさつし、楠隼を紹介しました。続いてJAXA第一宇宙技術部門先進リーダー衛星プロジェクトチーム有川喜久主任研究開発員による体験授業「シリーズ宇宙学『宇宙つてすばらしい』」が行われました。

人工衛星や太陽系のことなど宇宙に関する基本的な事を分かりやすく丁寧に授業していただき、来校した生徒・児童からも「分かりやすかった。」「とても宇宙を身近に感じることができた。」など好評でした。

次に、寮・学校見学の後、中学・高校に分かれて体験授業がありました。高校は社会、中学は社会と数学探究の授業が行われました。社会では地図記号を利用し、数学探究では、「AI vs教科書が読めない子どもたち」という本を題材に授業が進められました。「オリエンテーリングのように、子どもたちに考えさせながら、ゲーム感覚で

地図の学習をしていて楽しそうだった。」や「学生の時に先生に出会っていれば私も数学が好きになれたかも。」など好評でした。

このように楠隼を知って頂く良い機会になりました。来年度も開催予定ですので、地元で興味のある方なども参加をよろしく願いいたします。

